



(株)オーイズミ(大泉政治社長)は、1974年、貨幣処理機の製造およびホール関連の周辺機器メーカーから出発し、00年、株式上場を機にパチスロ製造にも

進出、着実な歩みも続ける企業として知られています。

10年のヒット作

「パチスロひぐらしのなく頃に祭」は、

記憶に残っている人も多いかと思えます。

そんなオーイズミは、拠点

を置く神奈川県厚木市

や伊勢原市を中心に、多彩な地域貢献

活動を展開しています。まずは毎年夏、8月4、5日の両日に開催される「あ

つぎ鮎祭り／花火大会」。

厚木市の南北を流れる相模川の流域では、遡上する天然鮎が市のシンボルとなっていますが、その鮎にちな

んだお祭りです。期間中、市内では様々な屋台が並びお神輿や楽隊のパレード、大道芸、鮎のつかみ取り大会、夜は花火大会に多くの市民が参加します。オーイズミは、この祭りに、

名物の「厚木チーズつくね」を含め計2000食を販売。尺玉の打ち上げ花火などを提供、協賛しています。

また、伊勢原市で毎年10月13、14日に開かれる「道灌祭り」。江戸城築

城で知られる太田道灌が鷹狩の折、雨に降られて、蓑を借りようと訪れた農家の娘との「山吹伝説」にちなむ武者行列などが有名です。オーイズミは、この祭りも協賛しています。

毎年7月、盛大に開かれる「湘南ひらつか七夕まつり」。会期中の来場者20万人、東北仙台の七夕まつりより長い歴史を誇る、首都圏最大の七夕祭りです。オーイズミは、名物の

七夕飾りコンクールに参加、毎回特選に入賞するなど、神奈川の地域観光発展のために力を尽くしています。

大山登山マラソンも支援

最近、県内外から多くの若者の注目を集めているのが「大山登山マラソン」。ここでもオーイズミは協賛企業の一翼を担っています。標高差650m、昔から「大山もうで」で知られる大山街道を9km、最後は参道から女坂へと続く1610段の石段を駆け上がるという、他に類のない過酷なマラソンコースが、かえって体力、脚力自慢の若者に受けているそうです。

いま実際にマラソン界で活躍中の有名女子ランナーも参加するとあって、毎年2千人近くの男女がエントリー、沿道には応援の人やマスコミの取材人も詰め掛けて大変な賑わいを見せます。給水所や救護所などの施設も整い、地元からは屋台ばやしや竜陣太鼓がでてランナーを応援します。ゴール地点では、地元産のミカンやお汁粉、甘酒が振舞われます。

山観光も合せて満喫できるといって一石二鳥のお祭り、地域の活性化に大いに役立っています。12年の「大山登山マラソン」に参加した同社営業本部営業管理課の山際健司さんは「何度かマラソンの経験はありましたが、これほどまでに過酷なコースは初めてでした。しかし走り終えれば、この上ない達成感を味わうことができました。地元名産のブース出店が多数あり、町全体がお祭みたいで、大いに楽しむことができました」と語っています。

昨年(12年)7月25日付の日本経済新聞は、このように報じました。「神奈川県と厚木市は誘致する大規模太陽光発電所(メガソーラー)の民間事業者に、厚木市に本社を置く遊技機開発のオーイズミを選定する方針を固めた。県が誘致活動を始めてから民間のメガソーラー計画が具体化するのとは初めてとなる。民間資金を活用した再生可能エネルギーの普及策が本格的に動き出す」。オーイズミでは、厚木市内にある岩石採取事業跡地14・6haに、当初発電容量200kWのメガソーラーを作り、今年4月の開業の予定。収益性を確認したうえで発電量を1万kWに引き上げる計画。地域貢献も含めた新しい事業に、多くの県民の期待も集まっています。



特選入賞しました!!

お土産や屋台もでて、帰りはケーブルカー、バスが無料となり

尺玉の打ち上げ花火などを提供、協賛

毎回特選に入賞しているオーイズミの七夕飾り